



地震に負けず練習してきた成果を、存分に発揮します！

3度目の九州大会に気合い十分！

第14回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会

第14回熊本県障がい者グラウンド・ゴルフ大会が、6月11日に芦北町で開催され、益城町チームが見事3位に入賞し、個人では坂本剛士さん(市ノ城団地)が栄えある優勝を手に入れました。

3年連続で九州大会(10月開催)出場の切符を手にした監督の馬場孝さん(市ノ城団地)は、「練習する場がなかなかなく大変でした。3回目なので、過去の成績をさらに上回れるよう頑張りたい」と意気込んでいました。

毎日頑張るお父さんに

「父の日に牛乳を贈ろう」

「父の日に牛乳を贈ろう」のキャラバンが6月16日、キャンペーンの一環として町に牛乳を贈呈しました。

このキャンペーンは、県内の酪農家の発案により始まり、その取り組みが全国に広まったもので、上益城地域でも、酪農女性部を中心として例年PR活動を行っています。贈呈者の上益城農協酪農部会第二支部女性支部長の渡邊ノブさん(小池秋永)は「酪農家も減少し、地震で大変な思いもしましたが、おいしい牛乳をと思い頑張ってきました」としみじみと話しました。



愛情と努力がぎゅっと詰まった牛乳です



土山地区の水田に咲く大賀ハス(左)と堂園池に咲いたハス(右)

清らかに咲く大輪の花

町内でハスの花が咲き始めました

土山地区の水田と大蛇伝説の残る堂園池で、ハスの花が咲き始めました。

土山地区のハスは、「大賀ハス」という貴重な品種のハスで、東京大学検見川厚生農場の落合遺跡で発掘され、理学博士の大賀一郎が発芽させることに成功した古代のハスです。年代測定により、今から2000年前の弥生時代後期ののものであると推定されています。

堂園池でも、池一面に広がった大きなハスの葉のそこかしこに、白いかれんなハスの花が咲いています。

Best Smile

今月のベスト笑顔

